



人気のAirよりも3月発売の新型iPad miniが「買い」



一時は「モデル廃止」が有力視されたものの、前モデルから3年半ぶりとなる2019年3月にフルモデルチェンジ（全面改良）した「iPad mini」。その新モデルが2021年3月にも発表されるとの観測が広がっている。

スペックは最新「Air」と同等で安い

第6世代となる新型miniはCPUやメモリーを換装しただけのマイナーチェンジ（一部改良）ではなく、現行の第5世代同様に全面改良となりそうだ。

中国部品メーカーからの情報によると、ディスプレイが周囲のベゼル（枠）を狭めることで現行の7.9インチから8.5インチに拡大。指紋認証のTouch IDは現行モデルを継承するが、Lightningポートについては「存続説」と「iPad Pro」や2020年10月に発売された現行「iPad Air」のような「USB-C採用説」がある。

現行のminiは、先代（第3世代）Airをそのまま小型化したモデル。次期miniも同様のモデルチェンジとなる可能性が高い。そうなればUSB-Cの採用が有力だろう。スペックはCPUが現行miniより2世代も進化した最新の「A14 Bionic」を搭載し、メインメモリーも1GB増の4GB、4Kビデオ撮影にも対応する。さらにはApple Pencilの第2世代やMagic Keyboardといった上級の純正オプションにも対応するのは間違いなさそうだ。

次期miniは、現行Airをそのまま小型化したモデルになるだろう。現行Airは現行Proと同程度の機能でありながら、価格（税別、以下同）は2万2000円安いこともあって人気モデルになっている。次期miniは現行Airと同機能で、価格はAirよりも1万7000円安い。仮に次期モデルが値上げされても、1万円以上の価格差は維持されるだろう。

小型のiPodを求めるユーザーにとってはminiの一択だが、AirやProを選択するユーザーにとっても一考の価値はある。新型miniは、間違いなく「買い」だ。
次ページに「新型iPad miniの予想スペックと比較」

新型iPad miniの予想スペックと比較

新型iPad mini（予想） 現行iPad mini iPad Air iPad

Pro 発売日 2021年3月 2019年3月 2020年10月 2020年3月 CPU A14 Bionic A12 Bionic A14 Bionic A12Z Bionic
メインメモリ 4GB 3GB 4GB 6GB 記憶容量 64/256GB 64/256GB 64/256GB 128/256/512GB/1TB
ディスプレイ 8.4インチ 7.9インチ 10.9インチ 11インチ・12.9インチ 税別価格 4万円台 後半4万5800円
～6万2800円～8万4800円～ 対応オプション Apple Pencil（第2世代）/Magic Keyboard Apple Pencil（第1世代） Apple Pencil（第2世代）/Magic Keyboard Apple Pencil（第2世代）/Magic Keyboard

文：M&A Online編集部